

～夢咲く里山プロジェクト～

(姫路市北部地域活性化拠点施設整備事業)

“夢が咲く、願いが叶う”という想いを込めて、桜等の苗木を地域の子も達が中心となって植林するほか、林業の担い手育成につながる取組として森林フィールドを整備する里山プロジェクトを展開する。

また、当該森林フィールドを含む山林を『(仮称)夢咲山(ゆめさきやま)』とし、地域に根付かせることで、ランドマークとして地域の活性化につなげる。

基本的な方針

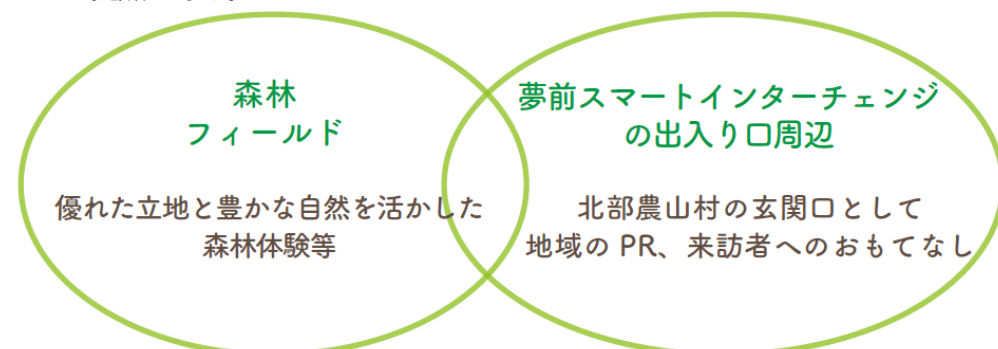
姫路市北部農山村地域活性化基本計画では、地域のランドマークとして地域全体の魅力ある情報を集約・発信するとともに、ヒト・モノが集まるプラットホームとなる拠点整備を検討している。

姫路市北部農山村地域活性化拠点施設の基本方針

- 従前の自然・地形・施設を最大限に活用した地域活性化拠点として整備する
- 北部農山村地域の自然、風土、歴史等の地域資源に触れ、年間を通じて楽しめる空間とする
- 安全で安心して食べられる農産物等を提供し、農林業振興を促進する

～夢前スマートインターチェンジ周辺～

夢前スマート I.C. 周辺には、「夢前スマートインターチェンジの出入り口周辺」と「森林フィールド」の2つの拠点がある。



森林フィールドの活用策

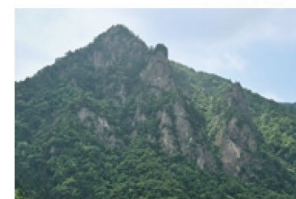
① 森林整備

森林整備にあたっては、県立森林大学校等の演習林として活用するなど、森林フィールドの整備を通じて林業の担い手育成の場となるよう、国や県の施策も活用しながら、中はりま森林組合等関係団体と連携・協力して取り組む。

② 地域のランドマーク

『(仮称)夢咲山』に、夢前地域のシンボルである桜等を中心に植林することで、地域のランドマークとして位置づける。当該地は、夢前スマート I.C. から西方面に向かうと正面に位置し、観光客が塩田温泉や円教寺、姫路城等に向かう際だけでなく、北部地域の住民は日常生活において常に目にすることとなる。

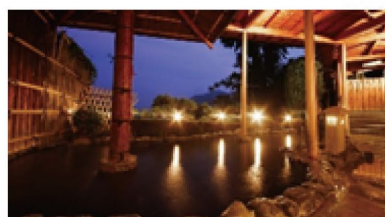
『(仮称)夢咲山』に桜等を植林することとなった経緯等を地域住民が共有し、里山の維持管理を地域住民が担い、「地域の自然環境は地域で守る」という意識を語り継ぐことで、ランドマークとしての更なる効果が期待できる。桜等の植林及び維持管理にあたっては、地域の子も達を中心に幅広い世代が関与するよう周知する。



① 雪彦山



② 農家レストラン『且緩々』



⑤ 塩田温泉



⑥ 弥勒寺



③ 鮎狩り場



④ 夢やかた



⑦ 置塩城跡



⑧ 夢街道 Farm67



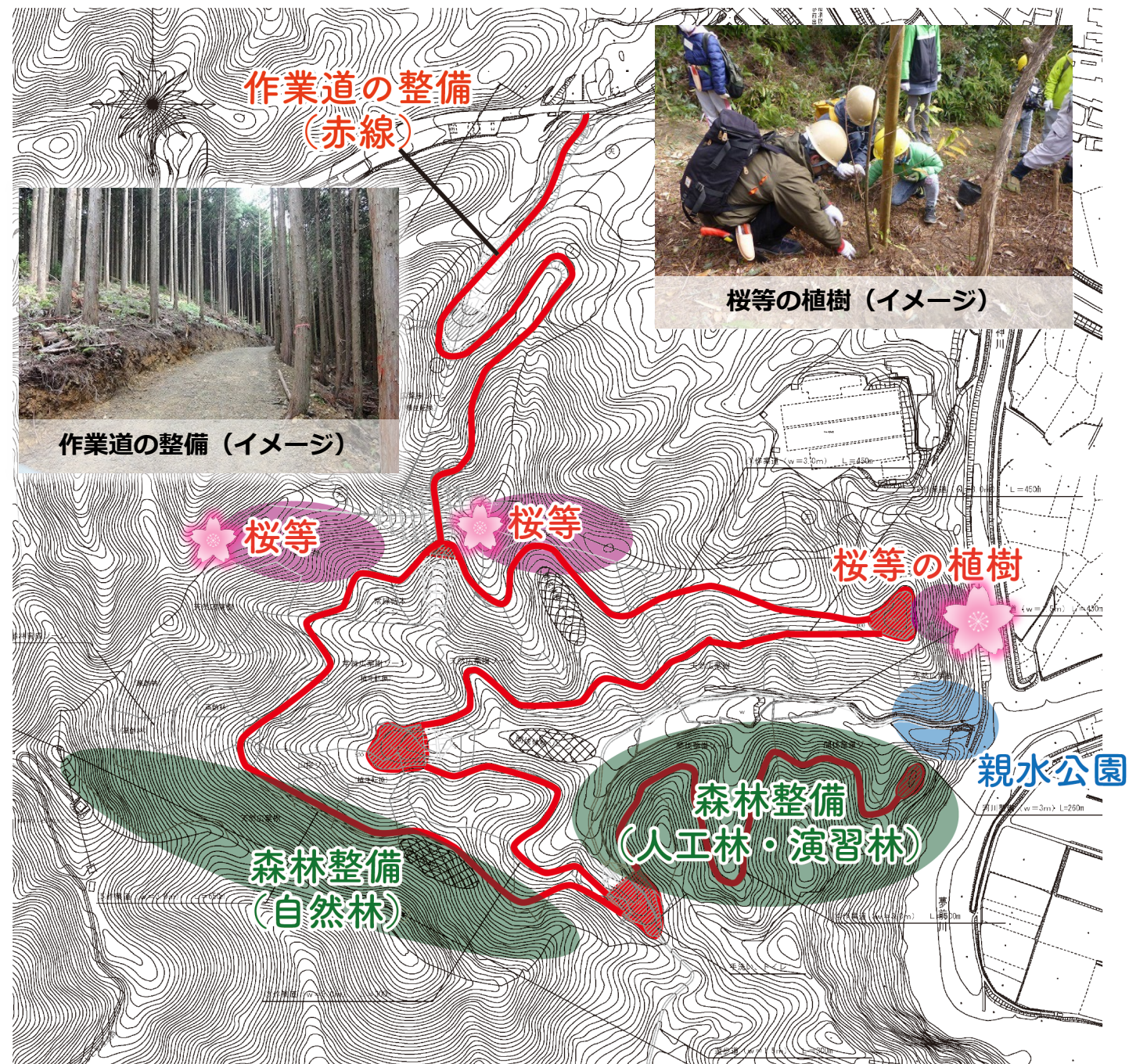
夢前スマートインターチェンジの出入り口周辺では、花街道等で来訪者をおもてなし



北部農山村の玄関口として、駐車場近辺での直売市や地域の PR 発信機能を検討



森林フィールドの整備 STEP 1



今後のロードマップ (素案)

STEP 1

最低限必要な基盤整備
と方向性の決定

基盤整備

- 森林整備
 - ・ 作業道等の計画、整備
(森林大学校、森林組合との連携による演習林としての活用等)
- 親水公園の整備
- ランドマーク
 - ・ 桜等の植樹

STEP 2

時代の情勢等に合わせた
導入機能の検討と計画の推進

導入機能

- 森林整備
 - ・ 作業道と遊歩道の整備
 - ・ 育林の計画
 - ・ 管理棟、駐車場等の計画
 - ・ 上下水道等の計画
- ランドマーク
 - ・ 桜等の植樹

STEP 3

計画の実現と
活動の展開

- 森林整備
 - ・ 育林の実施
 - ・ 管理棟、駐車場等の整備
 - ・ 上下水道等の整備
- ランドマーク
 - ・ 桜等の植樹

検討と実施 推進会議等による

- 北部農山村地域活性化推進会議、プロジェクト推進部会の実施
 - ・ 方向性の検討
(後世へ語り継ぐコンセプトや、キャッチフレーズ等)
 - ・ 試行的なソフト事業の計画実施
 - ・ 事業者・地域等との連携

- 北部農山村地域活性化推進会議、プロジェクト推進部会の実施
 - ・ 試行的なソフト事業の実施
 - ・ 事業者・地域等との連携強化
- ロゴやPRの検討・決定

- 森林フィールドにおけるソフト事業の実施

森林フィールド整備・修景のイメージ



ランドマークのイメージ